

# 自然を見つめる

2026年 6月号

VOL. 136

西東京 自然を見つめる会



## オオオナモミ……キク科

道端や空地に群生する一年草

北アメリカ原産の帰化植物、オス・メス同株で、メス花の上でオス花が咲き、風によって受粉する風媒花なので、受粉が受けやすい

文と撮影・山本昭六 撮影地 落合川近辺 10月

## 向台植物公園の手入れ

5月20日(水) 真夏日が予想される朝、石神井川近くのメタセコイアが目印の向台植物公園(向台町3丁目)に到着する。通常は月の第2水曜日に雑草の刈取りや植生調査をしている(5月はゴールデンウィーク関連で繰り下げ)。

園内に入ると、園地一面に緑色の花のようなものが散っている。スマホで調べたら、カキのジュンドロップ(生理的落下)とのこと。園内の草木は総じて元気に生育しているようだ。

もう数人の会員が作業をしている。当方は刈取られた雑草を集め、ビニール袋に詰めながらの草木の観察である。クララ、サラサウツギの花が咲いている(裏表紙に掲載)。ムラサキシキブはもう直ぐかな? 休みを取りながらの作業である。この公園は面積233㎡で小さいが草本64種、木本41種(P11,12掲載)が確認できる(自称)日本一小さな植物公園である。



集められたカキの幼果

刈取り作業と植生調査は凡そ1時間半で終わる。

さて、6月の作業は暑そうですが、どのような草木が花、実を付けているのか楽しみです。

(5月20日晴れ 大矢 隆治記)

## 目次

区分	内容	執筆者	ページ
表紙	オオオナモミ	山本 昭六	
巻頭言	向台植物公園の手入れ	大矢 隆治	1
式典参加	「みどりの式典」の受賞風景	大矢 隆治	2
表敬訪問	市長に受賞表敬訪問	大矢 隆治	3
活動総括	緑化推進運動功労者賞受賞とこれまで	中村 賢司	4
同上	35年を振り返るー1。2	中村 賢司	5~6
自然観察会	上野公園・不忍池自然観察会	大矢 隆治	7
同上	清水山の森(カタクリ)自然観察会	片岡 みつえ	8
同上	神代植物公園植物多様性センター学習園観察会参加報告	田口 はるみ	9
会員寄稿	碧山森のコナラの木の伐採から、倒木の原因への考察	渡部 國夫	10
植物調査	2025年(令和7年)度向台植物公園・植物観察記録	大橋 信子 緒方 信子 田口 はるみ	11~12
活動日誌等	これからの想う、活動日誌	大矢 隆治	13
植物雑感	ナツツバキ	緒方 信子 菅北 正子	14
裏表紙	向台植物公園 季節の草木たち-28	緒方 信子	

## 「みどりの式典」の受賞風景

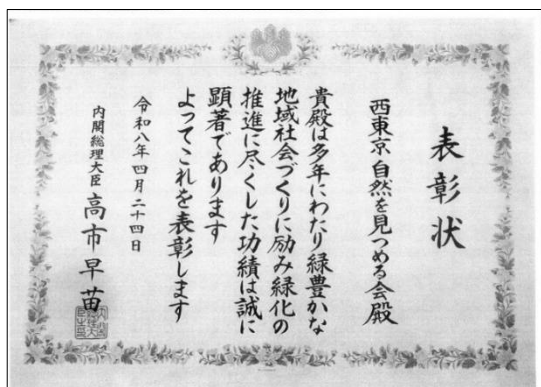
大矢 隆治

4月24日（金）午後 パレスホテル東京で、第20回「みどりの式典」が両陛下ご臨席のもと、三権の長、関係大臣が出席して開催され、前代表の中村顧問夫妻と出席する。参加者は230名程である。

受賞式に先立ち、別室で関係大臣との面談があり、当会を含めた4団体が国土交通大臣と話し合い、大臣から来年開催の横浜国際園芸博のマスコットの名前トウクトウクンの由来等の話に花が咲く。

授賞式では、みどりの学術賞2名の受賞があり、次いで当会を含め個人1名と12団体が緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰を受賞する。その後、関係大臣と受賞者の記念写真撮影がある。

受賞後、懇談会場に移動して、両陛下との懇談の機会があり、学術賞受賞者2名と学術内容についてしばらくご懇談され、次いで功労者グループに順次回られ、ご懇談をいただく。小生から“市と協働でみどりの散策路14コースをめぐり、市民を案内しています”とお話しすると、“何名程参加されますか”とのご下問があり、“毎回市民20名、当方10名程です”とお答えする。懇談は半時間程で終わり、午後6時頃ホテルを後にする。緊張するも晴れやかな一日でした。



記念の盾

※緑化推進功労者内閣総理大臣表彰とは 緑化活動の推進、緑化思想の普及啓発に顕著な功績のあった個人団体について内閣総理大臣が表彰するものであり、公表された功績の本文は下記のとおりです。

<功績の概要> 同団体は、次世代に豊かな自然を引き継ぐことを目的として平成3年に設立された市民ボランティア団体であり、地域の植物公園の維持管理を行うほか、多岐にわたる活動を実施し、地域の緑化推進に貢献している。

植物公園の維持管理においては、植生の保全や定期的な手入れを継続して実施しており、都市部における自然環境の質的向上及び市民の憩いの場の提供に寄与している。

また、地域住民に地域の樹木へ親しみを持ってもらうため、公募により選定された50本の樹木を「西東京市の木50選」として情報発信を行うほか、「西東京の木50選を訪ねる会」を開催している。さらに、自然との触れ合いを日常化することを目的とし、地元の自治体と協働して市内に「みどりの散策路」全14コースを設定し、散策マップの作成やガイド付きイベントを開催するほか、自然観察会や、植物や樹木についての学習機会の創出を目的とした講演会の開催、会報の定期発行も行っており、自然に親しむ機会を広く提供している。

同団体によるこれらの取組は、地域住民が自然とつながる機会を創出し、地域の緑化推進のみならず森林環境教育や緑化意識の普及啓発にも貢献しており、その功績は高く評価されるものである。

## 市長へ受賞表敬訪問

大矢 隆治

4月27日（月）午前、緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰の受賞報告のため中村顧問と市長に表敬訪問する。

応接室に入ると、奥の壁の受賞祝いの大横書きには感激する。

副市長、みどり環境部長、みどり公園課長も同席されている中、この度市からの都・国へのご推薦による受賞に心より御礼を申し上げ、「みどりの式典」の次第と両陛下ご懇談について報告する。

市長より、この度の受賞に対するお言葉を頂きました（下記にお願いした祝い文を掲載します）。晴れやかにも身の引き締まる思いです。記念写真を撮っていただき退室する。

令和8年緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰のご受賞にあたり、心よりお祝い申し上げます。

向台植物公園での植栽管理をはじめ、みどりの散策路マップの作成および市と協働でのガイド付き散策イベントの実施など、長年にわたり地域に根ざした緑化活動に真摯に取り組まれ、豊かな自然環境の保全と次世代への継承に多大なるご尽力を賜りましたこと、深く敬意と感謝を申し上げます。

今後の更なるご活躍を心より祈念申し上げ、ここに心からの祝意を表します。

西東京市長 池澤 隆史



# 緑化推進運動功労者賞受賞とこれまで

中村 賢司

大矢代表より受賞の報せを受けた時、思わず「なんで！」と叫んでしまった。全く縁のないものと思っていただけに、驚きは格別であった。しかしその後推薦文を読まさせていただくと、35年にわたる地元での地味な活動が評価されたとのこと。大変ありがたいこと。そこでその35年をざっと振り返ってみたい。

創立は1991年。前年に開かれた芝久保公民館の環境講座受講者の有志が立ち上げたのだ。当初の活動は・子供たちに自然を触れさせること・公園樹木の若返り推進・大気汚染観測・石神井川の水質改善問題など少ない会員数にしては多数のテーマに取り組んでいた。

◎その後西東京市が誕生し、長年課題になっていた今緑はどうなっているのだろう、緑被率は？これを皆で調べてみようとなり、会員のほぼ全員が市内全域に散らばり、住宅地図に基づき緑を確認、膨大な手計算のもと緑被率を算定した。(2002年) 従来の概ね30%を大幅に下回る22.4%と手法が異なるものの、この落差には大いに驚かされた。一部のマスコミが取り上げるほどの反響を呼んだ。この調査はこれだけではない、その後会の様々な活動のきっかけを作っている。

◎みどりの散策路の設定と案内(2003年～)・・・あそこにあんなに素晴らしい所がある。みんなで行ってみたいと始まり、14の散策路を設定、市がマップ作成、市と協働で年4～5回の市民を案内している。

◎公園の調査と報告書の発行(2007～2010年)緑地調査でどうも利用されていない公園が多いとの声が多く。それでは皆で調べてみようとなった。市内全公園の現状と利用実態を調査した。

これを報告と提言ということで冊子「市民のオアシスとしての公園」を発行した。

◎向台植物公園の維持管理・・・小規模ながら由緒ある公園が荒れ放題、利用者もほとんどない事が判明。それでは当会が維持管理のお手伝いをと市に申し出、2009年から定期的に整備を行い、市民・会員の植物観察の場としても利用させてもらっている。

◎西東京市の木50選の選定・・・当会の創立20周年の記念事業として市内の名木を選ぼうと市民の公募から、専門家に選出をお願いした。パンフレットを作成の上多くの市民を案内してきている。(2011年～)

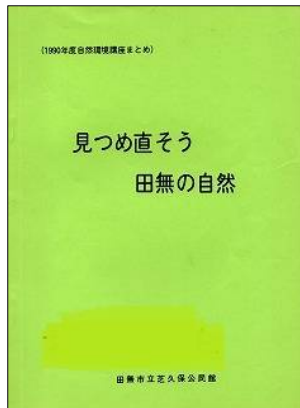
◎他市民団体との共同事業・・・市内の多くの自然環境団体とともに活動を行ってきた。①東大農場存続要請運動②アースデイフェア③芝久保公民館まつり④縄文の森祭りなど

◎さらに会独自の定例行事として。①親子自然観察会、②市内外への自然観察会、③年数回の講演会や勉強会開催

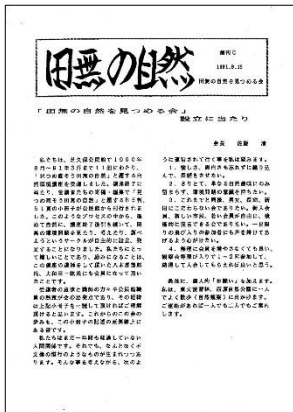
◎会報は本号で136号、季刊として休むことなく発行してきた。原稿作成から編集、印刷、製本まで会員自らが行ってきたことは誇るべきことである。

振り返って見るとよくここまで活動し得たのか、多くの市民をはじめ関係機関の皆さんのご支援ご協力のたまものと深く感謝申し上げます。現役の会員のご苦勞もさることながら、物故された方々、高齢や病気でリタイアされた元会員の皆さんのおかげで今日があり、名誉ある賞を頂いたことに心よりお礼を込めて報告させていただきます。ありがとうございました。

# 35年を振り返る—1



会発足のきっかけを作った  
環境講座の報告書



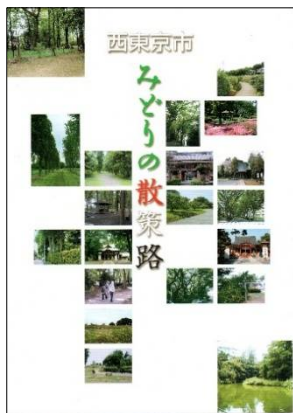
会報創刊号



創立以来子供たちの自然観察会を継続



西東京市の緑被率調査、大きな地図で表示、大きな反響を呼ぶ



みどりの散策路マップ  
第1号は会で作成発行

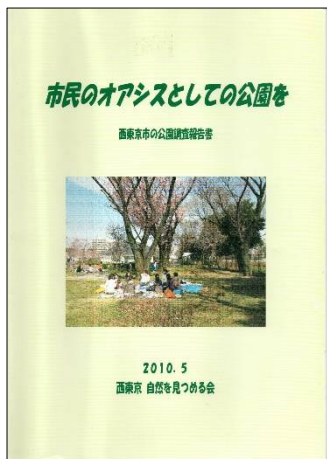


みどりの散策路めぐりで市民を案内



みどりの散策路マップ  
第2号以降は市が発行

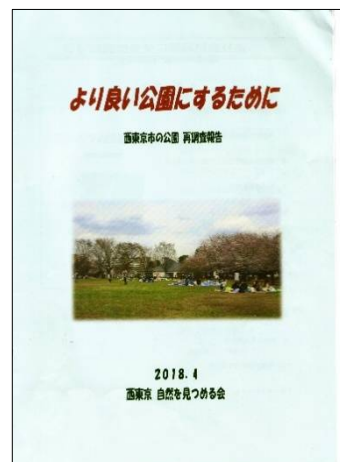
## 35年を振り返る—2



公園調査の報告書



市内全公園を会員全員で調査



公園調査の追加報告



会員等による植生の保全  
定期的な手入れを継続



きれいになった向台植物公園



市民公募で西東京市の木  
50選を選出、パンフレットを作成



市民と共に50選の木めぐり、  
No.49 狭山・境緑道のエノキ



遠方の自然観察会  
アルプスあずみの公園

## 上野公園・不忍池自然観察会

大矢 隆治

2月18日(水) 天気晴れ、上野公園・不忍池自然観察会である。田無駅 9.30 集合、6名参加である。高田馬場で乗り換え、上野駅の不忍池口より西郷像を目指す。久しぶりの西郷どん



との対面である。近くの彰義隊墓所から清水観音堂、顔面大仏を巡り、花園稲荷神社の満開の河津桜、白梅、しだれ梅を愛で不忍池に下る。

不忍池右手の動物園池(鵜の池)の中島に生えている木が真っ白には驚かされる。カワウの営巣による排泄物らしい。島は住宅難か、池畔のメタセコイアにも巣作りしている様はまるでタワーマンションである。(その後、巣は撤去され、枝はほとんど切られたとのこと)

蓮池では筏に乗り枯れた茎を撤去中である。こちらには水鳥はいない。ポート池に面



したベンチに座り、お昼を頂きながら水鳥を観察する。

しのばず自然観察会から以前に頂いた「不忍池水鳥ミニガイド」を手元に、オナガガモ、キンクロハジロ、コサギ、カワウ、ユリカモメ、ドバトを確認する。

少し歩いて、旧岩崎邸庭園に向かう。無縁坂を少し上り、堅固な石垣沿を進み入園する。馬車に乗った気分で坂道を上ると明治の洋館が正面に現れる。素晴らしいのひと言である。震災、戦災、都市化を乗り越えてきたことに感謝である。2階のベランダからの大芝庭の眺めは館内の明治から令和へのタイムトリップである。一方和館はところが落ち着くが、中庭の大きな根府川石の杢脱には驚かされる。玉突き室は少し疲れたのでスルーする。前庭のベンチに座り、皆さんの出てくるのを待つ。



まさにキャッチフレーズにある「時の風が吹く庭園」である。

退園後、池端から仲町通り繁華街を歩き、喫茶室で休息、反省会とする。

その後、上野広小路よりバスで高田馬場まで行き、田無駅で降り4時30分頃帰宅する。計8500歩の心豊かな1日でした。



## 清水山の森（カタクリ）自然観察会

片岡 みつえ

3月25日（水） 保谷駅北口から、みどりバスで目的地に向かった。

曇り空で、午後から雨模様との日ですが、桜のソメイヨシノとほぼ同時期に咲く、東京 23 区で唯一大規模のカタクリ群生地があるとのことで、期待感を抱いて会員 9 名が向かいました。

カタクリが咲いていました。しかし花びらは下向きです。ここを管理しているボランティアの方の説明ですと、“花は太陽に向かって咲くので、本日は皆うつむき加減です” とのこと。

しかし、シュンラン、ヒトリシズカ、ニリンソウが花を咲かせ、私たちを出迎えてくれました。キツネノカミソリ（ヒガンバナ科）とツルボの花はまだですが、細いスイセンの様な葉が沢山出ていて、その葉の形の違いを教えてくださいました。花が咲くと一目で違いがわかるのですが……。

ここには「東京の名湧水 57 選」の一つがあり、今の時期水温が一定しているので、周りが寒いので、ムサシアブミが他の場所より大きく成長し、まむし頭似の姿がひときわ大きく目立った。

キクザキイチゲ、アマナ、アミガサユリ、ヤブレガサと野草も芽吹いていました。湧水川沿いにセキショウの花が葉の間に咲いていて、言われないと気付きません。

少し歩くと「稲荷山いこいの森」にもカタクリの群生があるのですが、数としては少なかったです。いずれも市内では貴重な群生地です。

湧水川は近くの白子川へと流れますが、こんなに川幅のある白子川を見るのは私は初めてです。新河岸川へと流れ、隅田川へと続きます。



昨年の清瀬のカタクリ、一昨年前の西武秩父の小鹿野町堂上のセツブンソウとベストコンディションではなかったのが、自然の偉大さ、美しさを毎年求め続けます。

さて、来年の今頃はどこに春を求めようかしら……。

## 神代植物公園植物多様性センター学習園観察会参加報告

田口 はるみ

4月15日(水)神代植物公園植物多様性センターでの観察会に参加した。10時三鷹駅南口テラス集合、バスで神代植物公園前へ向かう。7名の参加であった。

東京都には大都会という一面から、亜高山帯山地、里地里山、温暖な海洋島まで多様な環境があり生物多様性に富んでいると言う。植物多様性センターはこの様な特性を、次の世代に継承する為に①絶滅危惧植物の保護増殖 ②絶滅危惧植物の情報収集、発信 ③植物多様性に関する教育、普及などの活動を行っている施設だ。

西門より入る。先ず目に入ったのは一群れの白いホウチャクソウの花だった。情報館までの林縁にはウラシマソウ等のテンナンショウ属、イカリソウ、エビネなどがあり、金魚の尾びれに似た葉を持つキンギョバツバキにも出会えた。

先ず真っ盛りのヤマフジの花で覆われた情報館で情報収集をする。館内には展示や図書、キッズコーナーなどが用意されており、牧野博士の書籍や植物標本のコピーの展示もある。職員さんの手作りと思われる花序の模型展示には、植物観察の基本の学習をさせていただいた。学習園は大きく武蔵野、奥多摩、伊豆諸島のゾーンに分けられ、又それぞれの環境によりいくつかに分け展示されている。

奥多摩ゾーンではオオツクバネウツギ、スマレ、ツツジなどが見られ、まだ花の無いレンリソウの名板も見つけた。中でもこのゾーンで一番印象的だったのは、オオカナメモチの大木の全体を覆う満開の白い花だった。遠くからでも目立っていて近くによると青臭い臭いがした。これはセンターが設置される前から在った木で、今では来園者に人気があり、多様性センターとしては複雑なものを抱える木だそうだ。このゾーンにある東屋で昼食をとる。

伊豆諸島ゾーンは火山性草地、海岸岩地、海岸砂地のゾーンに分けられ、異なる環境を再現して展示されている。オオシマハイネズ、ハマハタザオ等が見られた。海岸では風の影響で樹高が低くなり、這うように生えているハマゴウもセンターでは風の影響はなく樹高も高くなる。そこで短く剪定して対応しているとの説明板があった。違う環境下での展示の苦労と難しさを感じた。

武蔵のゾーンは雑木林、草地、果樹林、礫地などに分けて展示。エビネ、ミツバウツギ、キランソウ等が見られ、見慣れた武蔵野の林は春の息吹に溢れていた。



初めての植物公園多様性センターであったが、小さな草花にも名板があり、ガイドツアーも用意され(主に日曜日)植物と親しむにはとてもいい環境だと感じた。地球の温暖化や国内外の外来生物、開発に伴う環境変化などによる多様性喪失や維持の難しさなど問題は深刻であるが、身近な事から考え、植物との触れ合いを楽しみ続けたい。正門近くのサユリの無事開花を願いつつ観察会は終了した。





ぐるりとあるカシノナガキクイムシの食痕群

東京都碧山森緑地保全地域のボランティア「木の子会」が今年度初めに解散してすぐに都はこの森に多くの重機と、10人ほどの職人が入り、2日ほどで、10本以上のコナラ・クヌギの木の伐採・太い枝の剪定を行った。この森は中央に車の通る道路を挟み、北と南に分かれるが、北側の森は今までの切られた切り株に加えて、さらに多くの切り株が増え、森の中央は明るい空が広がった。昨年度モンスズメバチの巣が、南側は、私がボランティアに加わってから木の根元に私がボランティアを行ってから初めて2つも作られ、練馬区の業者によって撤去された箇所である。北側は、民家に近い木の上部の太い枝がかなり切られ、落枝の時の家への被害はほぼなくなるものと思われる。

これらの伐採の結果、古い切り株は子どもたちや大人のカブトムシなどの幼虫探しによって粉々になるが、ちょうど腰かけられるほどの高さの大きい切株が森の中にたくさん存在し、明るい空間のため、腰を下ろし休む人も多くみられる森になった。落ち葉と喫煙が心配である。

あたらしい切株は、この森の成長の生き証人である。紙やすり・物差し・虫眼鏡・カメラを持ってたびたび訪れ、貴重な切り株の表面を良く磨き、じっくり観察し、カメラで撮った。

写真の切り株は昨年度、幹の3分の1から突然折れ、森の道の下に人が通っていたら大怪我をするコナラの木の伐採後の切り株である。年輪から数えると50年たった木で、ちょっと奥の方には、5~7年ほど前だろうか、コナラやクヌギなどのブナ科の木に飛んできて、小さな深い穴を多くの虫が開け、幼虫を育ててナラ枯れを起こして大騒動になった、カシノナガキクイムシの食痕・巣の跡がしっかりと残っていた。このコナラはそれほどの被害はないように見えるが、左の全体の写真から、周辺部に黒いシミ状の腐食(?)跡がぐるりと見られ、外側の維管束が次第に衰え、とうとう風などの外部の圧力に耐えきれず、倒れたものと思われる。

この被害はカシノナガキクイムシがいなくなってもじっくりと進行していると思われる。

2025年(令和7年)度向台植物公園・植物観察記録

○草本

西東京自然を見つめる会

記号： 芽生え：△ 花蕾：☆ 花咲き始め：○ 花満開：◎ 実：● 植物有：レ

植物名・月日	4/9	5/14	6/12 (木)	7/9	8/13	9/10	10/8	11/12	12/10	2024.1/14	2/11,12	3/11
1 アズマネザサ				レ								
2 アマドコロ	△											
3 アミガサユリ (バイモ)	○終											☆
4 イカリソウ	☆	○終	レ		株大きく	レ元気	レ		レ			
5 イソギク		○				レ	☆	☆	レ	○残		
6 イチハツ (ジャーマンアイリス)			○終									
7 オトコゼンマイ	△											
8 オニユリ	△		☆	伐								
9 カニクサ		レ				レ		レ	レ			
10 カラスノエンドウ	○	●										
11 カラミンサ							○					
12 カンアオイ		○	レ3株	レ	レ	レ	レ	レ	レ	○	☆12or13	●
13 キウリグサ	◎											
14 キジカクシ		レ	●	元気なし	レ	レ	レ					
15 キチジョウソウ								○	○			
16 キンミズヒキ					●	●	レ	●	枯			
17 クララ					レ元気	レ食害			レ			
18 コバギボシ	△	レ		レ	レ減少	レ少		レ少				
19 サギゴケ (白)	◎	○	レ増		レ一部枯			レ少				
20 シモバシラ	△	レ		レ	植レ	レ	☆	○残	●	レ	氷の花	
21 シャガ	△☆			レ								
22 シラン	☆	○白紫		レ		●						
23 スイセン	レ終			レ				△	△	◎	◎5.6本	レ切
24 ススキ						レ		穂	枯			
25 スノーフレーク												
26 スミレ	△		レ		レ							
27 セッコク	レ	レ	レ	レ	レ新しい根	レ		レ				
28 センニンソウ			○	レ								
29 タカサゴユリ	△			レ	☆花蕾		●緑	●				
30 タチツボスミレ	◎											
31 ダルマガク								○	○			
32 チューリップ	レ											
33 ツユクサ												
34 ツルボ						○						
35 ツワブキ							☆	○	●終	レ	株大きく	△
36 トキワハゼ	◎	○終										○
37 ニリンソウ	◎											△
38 ノギク (シロヤマギク)								○				
39 ノブドウ		レ		●緑	●色づき	●	●	●				
40 ハナニラ	◎											
41 ニッコウキスゲ			○		葉枯							
42 ヒガンバナ (マンジュシャゲ)							○終					
43 ヒメオドリコソウ	◎											
44 ヒメウス	◎	●							△		△多	△
45 フタリシズカ	レ	○	●	●								
46 ホウチャクソウ		●	●	レ				葉枯				
47 ホタルブクロ	△	レ	レ少		2,3株小さい							
48 ホトトギス	△	レ	レ少	レ	レ	レ	レ少ない	○2種				
49 ボタンズル												
50 マツバギク		レ			レイソギクの下に	レ						
51 マルバルコウソウ												
52 ミズヒキ		レ		○	○	○	○少	●				
53 ミソハギ	△	レ	レ増	レ	レ株枯	レ元気なし	レ					
54 ミヨウガ		レ多		レ○		レ						

○草本つづき												
記号: 芽生え:△ 花蕾:☆ 花咲き始め:○ 花満開::◎ 実:● 植物有:レ												
植物名・月日	4/9	5/14	6/12 (木)	7/9	8/13	9/10	10/8	11/12	12/10	2024.1/1 4	2/11,12	3/11
55 ムサシアブミ	☆	○終		レ	レ葉枯							
56 ムラサキケマン	◎											
57 ムラサキサギゴケ	◎	○										
58 ムラサキツユクサ		◎	レ切			レ						
59 モジズリ (ネジバナ)			○2株	プラス2								
60 ヤブカンゾウ	△	△多		○	レ	レ						
61 ヤブマオ		レ		○	●		レ	レ				
62 ヤブマメ		レ					○					
63 ヤブミョウガ				○2本	少	○	レ	レ				
64 ヤブラン		レ		○	○	○						

○木本												
記号: 芽生え:△ 花蕾:☆ 花咲き始め:○ 花満開::◎ 実:● 植物有:レ												
植物名・月日	4/9	5/14	6/12 (木)	7/9	8/13	9/10	10/8	11/12	12/10	2024.1/1 4	2/11,12	3/11
1 アオキ	☆	○終				レ			●	●	●赤	●赤
2 イロハモミジ		レ	●		●	レ			紅葉			
3 ウンシュウミカン		○	●	●少し	●	●	●	●	●	●	●残	●残
4 エゴノキ		◎		●		●						
5 エンコウカエデ												枝赤
6 オオムラサキ (ツツジ)												
7 オトメツバキ	○			レ		元気		☆	☆	☆	☆多	◎
8 オニグルミ		レ		●8コ				剪定	●			
9 カキ (禅寿丸)		○↓	●	●	●	●	●					
10 ガクアジサイ		レ	○	○終	コガネムシ食害				レ			
11 クスノキ												剪定
12 クワ		レ					レ	レ				剪定
13 コゴメツギ		○	●	●	●		レ元気なし	●				
14 コムラサキ				☆○	●	●	●	●				
15 サラサウツギ		☆	●	●	●		●	●				
16 サンショウ	○	レ		枯			レ剪定	レ				
17 シロヤマブキ	○始		●			●黒	●	●			●○	☆
18 シロミノマンリョウ						●	●	●	●		●	○
19 タカオモミジ		レ		●					紅葉			●
20 タニウツギ		○終			葉食害	レ						●
21 ツバキ (白)	○終	●	●	●	●		●		☆		レ	☆○
22 ナギイカダ		レ					レ	レ				
23 ナンテン		☆	○		●			●	●			
24 ハギ				レ								
25 ハクウンボク				枯	伐採							
26 ハナズオウ	◎	●	●				●	●				△
27 ハナソノツクバネウツギ			☆	○	○	○	○	●				
28 ヒマラヤスギ (向台小)							落雪					
29 ビヨウヤナギ			○散り始め			レ		レ				
30 ビラカンサ		レ					●	●	●	実なし		
31 ビワ		●					レ	レ	○	◎	○終	
32 マキエハギ												
33 マンリョウ			●	○	●		●	●赤	●	●	なし	
34 ミズキ		○終	●		●↓	●少	レ	レ	紅葉	幹艶	剪定	
35 ムクロジ	△	レ		レ			レ	レ				
36 ムラサキシキブ		☆		●	●	レ	レ	レ				
37 メタセコイア (曙杉)	△			レ		レ	レ	紅葉 (ビスマルクブラウン)				
38 ヤブツバキ				レ	●	●	●	レ	☆			
39 ヤマブキ	◎	レ	レ			レ						
40 ユキヤナギ	◎終	レ										☆
41 レンギョウ												

(大橋 信子 緒方 信子 田口 はるみ)

## これからを想う

会報には毎号下記のような活動日誌を記載している。各方面での活動を反省できる。

今回は4月24日（金）「みどりの式典」での受賞が目される。創立以来35年の活動に対する国からの評価と素直に受け入れる。物故された先輩や事情で退会された会員を含めたこれまでの会活動に対するご褒美と感謝するところです。



さて、これからのことですが、課題を抱えつつも、会則2条の（1）自然に親しみ、愉しさを知り、その仕組みを学ぶ。  
（2）西東京市及び、東京都の自然の保護と回復のために学習・調査・啓発・提言等を行う。を旨として、先ずは“もう40年を迎えたんだ・・・”と言えるよう、力を合わせ、楽しく自然を見つめていきたいと思っています。

（大矢 隆治 記）

### ◇活動日誌 2026年3月4日～2026年5月27日

- 3月4日（水）3月度定例会（芝久保公民館第）（会報135号発行）
- 3月6日（金）R8 公民館市民企画事業説明会（柳沢公民館）
- 3月7日（土）アースデイ西東京準備実行委員会（フレスポひばりが丘）
- 3月11日（水）向台植物公園作業 ダベル会（田無公民館）
- 3月12日（木）公園管理協力員連絡会（エコプラザ）
- 3月15日（日）芝久保公民館利用者懇談会
- 3月16日（月）芝久保公民館記録誌製本
- 3月25日（水）自然観察会（清水山の森、カタクリ群落等）
- 3月28日（土）田無公民館実習室整理
- 4月1日（水）4月度定例会（芝久保公民館）
- 4月8日（水）向台植物公園作業 ダベル会（田無公民館）
- 4月11日（土）アースデイ西東京第1回実行委員会（フレスポひばりが丘）
- 4月15日（水）神代植物公園植物多様性センター園自然観察会
- 4月24日（金）「みどりの式典」に出席、緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰
- 4月27日（月）市長に受賞表敬訪問
- 5月9日（土）アースデイ西東京第2回実行委員会（フレスポひばりが丘）
- 5月9日（土）第43回芝久保公民館まつり準備会
- 5月13日（水）2026年度総会・5月度定例会（芝久保公民館）
- 5月20日（水）向台植物公園作業 ダベル会（田無公民館）
- 5月27日（水）みどりの散策路めぐり（芝久保町のみどりを訪ねるコース）（市と協働）

ナツツバキ

ツバキ科で庭や公園にも良く植えられている。  
春、花が咲く普通の椿のような固くて厚い艶のある濃い緑の葉を持つ常緑樹ではなく、こちらは薄くて柔らかな秋には葉を散らす落葉広葉樹です。  
木肌はすべすべと滑らか、梅雨の頃白い大きな花（7cm 前後）を咲かせます。  
花弁は薄くて5枚、その外側には細かい切れ込みが入っています。派手さはなく、むしろたおやかな美しさを感じさせる花です。

会が4月に緑化推進に貢献したとして国から表彰されたので、会報で報告するのに自然雑感に—これから花を咲かせ始めるナツツバキを載せるのが丁度良いと考えた次第です。

(文 緒方 信子)



なつツバキ

M.S

(菅北 正子 画)

自称 日本一小さな植物公園

## 向台植物公園 季節の草木たち-28

クララ (マメ科)



**クララ (マメ科)** 日当たりの良い草地や河原などに生え 150cm 位の草丈になる。10~15 対の奇数羽状複葉(小葉は 2~4cm 長)のマメ科。6~7 月にオフホワイトの小さな蝶形花を穂状にたくさんつけ、長さ 5~6cm の豆果になる。根を漢方の苦参(くじん)として止血、健胃に用いるが、噛むとくらくらするほど苦いことからクララの名がある。

サラサウツギ (ユキノシタ科)



**サラサウツギ (ユキノシタ科)** 枝が中空なのでウツギ・空木と書く。ウノハナ・卵の花ともいう。5~7 月にほぼ白の五弁花をつけるが、たくさんの花弁を持ちその外側がややピンク色がかっている八重咲きのものをサラサウツギという。庭木や生垣によく植えられているが、昔は畑との境界に利用されていた。葉は対生、長さ 4~10cm の卵形又は広披針形で、両面に星状毛があり触るとざらざらしている。

### ○お知らせ

- 1 定例会 毎月の第一水曜日 9:30~ (通常 芝久保公民館)
- 2 向台植物公園作業・その後ダブル会 毎月第二水曜日 9:30~
- 3 自然観察会 毎月 1 回企画

—会員を募集しています—

問い合わせ先: 大矢 隆治

電話: 080-6816-1038

年会費 1500 円

〒188-0004 西東京市西原町 4-5-37-6-110

郵便振込み: 口座番号 00190-6-662630

加入者名: 西東京 自然を見つめる会

編集幹事 ( 大矢 隆治 緒方 信子 山口 建太郎 渡部 國夫 )